

通学区域制度弾力化について

弾力化制度の経緯

- ・岡山市では平成17年度から教育改革の一環として実施。
- ・①子どもの個性や適性に応じた教育を受けさせたいという保護者の希望に沿った学校選択を可能にするとともに、②特色ある学校づくりや学校の活性化を図ることを目的とする。
- ・平成22年度に地域とのつながりの観点から受入枠について見直しを行い、一定の制限を行っている。

制度の評価・検証

- ・目的①(保護者・子ども)については、学校受入枠の制限はあるものの希望の学校を選択できるという点では一定程度達成できている。
- ・目的②(学校側)については、オープンスクールの実施や全学校でホームページを作成する等、学校の公開が進んだという面で効果があった。

課題

- ①地域のつながりが薄れる
- ②特定の学校に集中・減少する傾向がある
- ③小規模校が益々小規模化

H28アンケート結果 意見聴取会の意見等

主な検討内容

<考えられる案>

- ①これまで通り存続
- ②小学校廃止・中学校存続
- ③小学校存続・中学校廃止
- ④全面廃止

※上記②～④の場合には以下のことも検討

- ①兄弟姉妹関係の入学許可について
- ②通学距離による入学許可について
- ③その他関連施策(小規模校特認校、指定学校変更許可基準での対応等)

今後のスケジュール(予定)

平成29年4月25日 教育委員会定例会で議決
5月～6月 周知チラシ作成・配布
HP・広報紙等で周知開始